

表 自由が丘事業工程一覧

種別	事業内容	事業概要	実施期間	備考
	駅周辺の放置自転車対策の推進	放置自転車対策協議会とTMOならびに世田谷区等と連携した放置自転車対策を推進する	平成22年(2010年)までに着手もしくは完了	特定事業-1
	都市計画道路の整備(補助127号の一部)	駅前広場周辺(カトリア通り)のゆとりある歩行者空間の整備を行う		特定事業-2
	短期的な駅舎のバリアフリー化	自由が丘駅におけるホームから改札までのバリアフリールートの確保を行うためエレベータの設置等の整備を行う		特定事業-3
	車道の狭小化による歩行者空間の確保	車道幅員を狭め、その分を歩行者空間として活用し、バリアフリーの歩行者空間を確保する		特定事業-4
	駅を中心とするバリアフリーサイン類の設置	バリアフリールートや施設の案内、誘導できるサイン類を設置する		特定事業-5
1	壁面位置後退によるゆとりある歩行者空間の確保	自由が丘南口地区、睦坂沿道地区等の地区計画が策定されている地区において、セットバック空間を歩行者空間として活用する	~18年 ~23年 23年 	主要経路事業-1
2	緑のさんぽ道に指定されているルートの一部を交通規制等と併せて整備	関連計画のひとつである散策路ルートを対象として、交通規制等の実施と併せて歩行者優先路として整備		主要経路事業-2
3	生活道路の歩車共存道路としての整備	主要施設へのアクセス路となる主要経路において、住宅地内の生活道路として、歩車共存が図れる道路空間を整備		主要経路事業-3
以下は、中心市街地活性化基本計画に記載されている事業メニューの内、今回の交通バリアフリー基本構想の内容に関係すると思われる事業メニューの概要とスケジュールを示す				
	都市計画道路の整備	住宅地へ進入する自動車の排除や地域の回遊性を向上させるためなど都市計画道路の整備を行う	~18年 ~23年 23年 	市街地整備ハード事業
	駅前広場の整備	駅前広場の景観形成とゆとりを持った歩行空間確保のために、駅前広場の整備を行う		市街地整備ハード事業
	生活道路の整備	自由が丘地区の居住環境の向上を目指した生活道路の整備を行う		市街地整備ハード事業
	電線類の地中化	歩行者空間の確保やさらなる高質化に向けて、電線類の地中化の整備を推進する		市街地整備ハード事業
	鉄道の立体化	駅前広場空間の確保や駅周辺地区の高度利用のために、鉄道の立体化を推進する		市街地整備ハード事業
	バリアフリーの整備	店舗部分における細かな段差の解消等の街のバリアフリーに関する整備を行う		市街地整備ハード事業
	潤いのネットワークの整備	商業施設や文教施設、緑・川等を結ぶ散策ルートを整備する		市街地整備ハード事業
	情報案内所設置	駅前広場や人通りの多い場所に、店舗やイベント等の情報を提供する情報案内所を整備する		商業活性化ハード事業
	サイン・シンボルの設置	一目で自由が丘地区とわかるようなサインやシンボルを整備する		商業活性化ハード事業
	歩行者優先ゾーンの設定	安心して買い物が出来ることを目的に、車両の交通規制を行い、歩行者優先ゾーンの設定を行う		商業活性化ソフト事業
	エコバスの導入	自由が丘周辺を周回し環境へ配慮したエコバスを導入する		商業活性化ソフト事業
	バリアフリーの社会実験	誰もが楽しく散策できるまちにするために、地区内の道路段差のチェック等のバリアフリーの社会実験を推進する		商業活性化ソフト事業
	まちづくり協定の制定(にじみ出し抑制等)	自由が丘のイメージにあった街並みの形成を図るために、商業施設立地のルール化によりにじみ出しの抑制を図る		商業活性化ソフト事業

注：中心市街地活性化基本計画(H14.2)では、合計66の事業メニューが挙げられている。備考欄は基本計画で区分けされている種別を表記した